

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                   |            |  |
|---------|-------------------|------------|--|
| 事業所番号   | 0572610129        |            |  |
| 法人名     | 有限会社水谷            |            |  |
| 事業所名    | グループホームおおた        |            |  |
| 所在地     | 秋田県大仙市太田町齊内字中田201 |            |  |
| 自己評価作成日 | 平成28年11月22日       | 評価結果市町村受理日 |  |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.akita-longlife.net/evaluation/">http://www.akita-longlife.net/evaluation/</a> |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                        |  |  |
|-------|------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会 |  |  |
| 所在地   | 秋田県秋田市下北手松崎字前谷地142-1   |  |  |
| 訪問調査日 | 平成28年12月9日             |  |  |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

|   |
|---|
| 地域との連携及び交流に力を入れています<br>①地域活動への参加(花植え・草刈り・ゴミ拾い)<br>②地域行事への参加(雪まつり出店・神社祭典等)<br>③社内行事への地域の方の参加(夏祭り・芋煮会・ボランティア慰問時)<br>家庭的な雰囲気の中で一人一人の意思を尊重して生活していただいています。利用者さんの笑顔とても素敵です。 |
|---|

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

|  |
|--|
| 地域の方から避難訓練や運営推進会議、ボランティア等、さまざまなサポートを得ると共に地域活動にも積極的に参加して地域の一員としての役割を担い、良好な協力関係が築かれています。ボランティア来訪時には隣接する他事業所と自由に行き来して交流の場となっています。利用者一人ひとりの思いを理解し、楽しみを見い出せる支援を心がけています。 |
|--|

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～53で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   | 項目 |   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 54 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんど掴んでいない | 61 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 55 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○                     | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                | 62 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                     | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 56 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 63 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                     | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 57 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)  | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 64 | 職員は、活き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                     | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 58 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 65 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 59 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 66 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 60 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  |    |   |                       |   |

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|--------------------|-----|---|---|--|-------------------|
|                    |     |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |   |  |                   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                        | 代表・管理者・職員で勉強を行い理解を深め一人一人が理念に沿った支援に努めている。  | 利用者個々の思いを理解し、一人ひとりの意向に沿えるようその都度対応を検討して理念の実践に繋がっています。                               |                   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                            | 地域の行事への参加(雪まつり・児童館花植えなど)や、ホームの行事への地域住民の招待や広報の発行などを行っている。                                | 地域との関わりを大切にし、地域活動やお祭り、法人行事で盛んに交流されています。地域の一員としてネットワークが構築され、必要とされる役割や活動を積極的に担っています。 |                   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域とのつながり<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している                    | 近隣や行政などに(年数回)広報を発行して事業所の情報や健康や病気の理解を広めている。また社員の勉強会にも地域の方からも参加していただけるような勉強会としている。        |  |                   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている       | 2か月に1回定期的に開催してホームの現状や報告や運営課題等に対して述べられた意見を会議に取り上げてサービスの向上につなげている。                        | ホームの運営状況や活動報告、ヒヤリハット、事故報告に対する意見や提案をサービスの向上に活かせるよう取り組まれています。                        |                   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる                  | 運営推進委員として会議に参加していただき現状や課題を報告して専門の機関からご意見を頂いている。また福祉事務所との連携もはかり利用者さんが安心して生活できるように支援している。 | 運営推進会議でホームの現況を伝えている他、生活保護受給者が入居していることから密に連携が図られています。                               |                   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束ゼロに向けて代表者を含め全職員が研修を行っている。必要だと思われるケースについては検討会議を開催して、必要性を検討できる限り拘束を回避するように努めている。      | 必要に応じて身体拘束ゼロ推進委員会を開催しています。止むを得ない場合の家族の同意とカンファレンスを行った記録が残されています。                    |                   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている       | 前職員が「虐待防止」について研修を行っている。   |  |                   |

| 自己 | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|-----|---|--|---|-------------------|
|    |     |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している           | 代表を含め全職員が「権利擁護・成年後見」について研修を行い必要に応じて、行政や家族へ相談している。                      |   |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                                | 契約の締結、解約または改定等の際は利用者や家族等への説明を行い不安や疑問がないように十分に説明を行い同意のサインをいただいている。      |   |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                            | 意見箱を玄関の設置して、管理者が定期的に確認している。また面会や電話についての時間以外の制限は設けていない。意見は業務改善会議にて検討する。 | アンケートや電話等で意見や要望を引き出す機会をつくり、運営に反映できるように努めています。               |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている   | 職員との個別面接や朝礼で出た意見を幹部会議で取り上げ可能な限り反映させている。                                | 職員同士が話しやすい環境の中で常時意見交換されており、代表が現場にいることも多く、日常的に意見が聞ける体制にあります。 |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている             | 毎月勤務表を確認、研修状況の確認を行ったり、面接を行い個々にあった支援評価を行っている。                           |   |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている          | 各職員に必要な研修を検討して社内外研修を行っている。   |   |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 同業者と合同レクを行い親睦を深めその後、情報交換や、意見交換を行っている。                                  |   |                   |

| 自己                          | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|-----------------------------|-----|--|--|--|-------------------|
|                             |     |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |  |  |                   |
| 15                          |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | センター方式を利用して、本人の人生の足跡を把握し理解に努めている。  |  |                   |
| 16                          |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | センター方式を利用して、本人の人生の足跡を把握し、本人の理解および家族の要望の理解に努めている。また情報収集時などに家族の要望にも耳を傾けて関係づくりに努めている。 |  |                   |
| 17                          |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 日常生活上で行われる仕事を職員と利用者さんが一緒に行っている。  |  |                   |
| 18                          |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 心身の変化があったときは、家族へ連絡し対応策と一緒に検討している。また行事などがあるときは家族さんの参加を促し、運営に関しても参加していただいている。        |  |                   |
| 19                          | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 親族をはじめ親しい友達との交流が継続し行えるように来所していただいたり、訪問したりしている。                                     | 利用者と家族の関係を理解し、本人の気持ちを大切にその関係が途切れないように、また隣接する他事業所の利用者やボランティアとの交流、行きつけの美容院を利用する等、関係者が協力して支援されています。 |                   |
| 20                          |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | みんなが参加できる、レクを取り入れ、事業所対抗の競技などを行い、利用者同士の関係を深めている。                                    |  |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|------------------------------------|------|---|--|--|-------------------|
|                                    |      |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている             | 終了後も、会社の行事のお知らせをしたり、年賀状や暑中見舞いのご挨拶をさせて頂いたり、関係を築いている。また必要に応じて相談助言等にも務めている。 |  |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |   |  |  |                   |
| 22                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                    | センター方式や日常生活の中での会話で本人や家族の意向や希望を把握するようにしている。                               | 日々のケアの中で利用者の状態を理解して思いが把握できるように努め、全職員に情報を伝えています。  |                   |
| 23                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                           | センター方式を使用して把握に努めている  |  |                   |
| 24                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている  | センター方式を使用して把握に努めている  |  |                   |
| 25                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | サービス担当者会議を開催して家族からの意見要望聞き介護計画に生かしている。                                    | 担当職員を中心に毎月モニタリングし、介護計画に反映できるよう話し合いが行われています。家族の予定に合わせてサービス担当者会議を開催するようにしていますが、都合がつかない場合は電話で確認しています。 |                   |
| 26                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                 | 介護経過記録に記載して個別援助計画を見直ししている。   |  |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                                |
|----|------|--|--|---|--------------------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容              |
| 27 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している   | 趣味活動や芸能ボランティアを受け入れ、本人が活躍できる場を作っている。  |   |                                |
| 28 | (11) | ○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 基本的には家族や本人が、かかりつけ医や薬局を選択していただいています。また、定期受診に関しても必要に応じ職員が同行し受診帳に状態をわかりやすく記入して、日頃の状況も把握していただいている。                       | 利用者それぞれのかかりつけ医で受診されており、希望に沿って支援されています。  |                                |
| 29 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                             | 生活状況や体調、服薬に関して相談し個々の利用者が適切な受診や看護がうけられるように努めている。  |   |                                |
| 30 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。    | 入院時、介護サマリーを交付して、生活状況や体調の変化がいち早くわかるように努めている。また本人への面会もこまめに行い、不安なく治療ができるようにしている。退院が決まれば、担当者介護を開催して退院後の生活を的確に行えるようにしている。 |   |                                |
| 31 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる      | 契約時に説明し同意をいただいている。   | 医療的な処置が発生した場合の対応が困難であることを説明しています。実績はありませんが、往診可能な医師が確保されており、関係者が連携して支援できるよう検討されています。 |                                |
| 32 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている   | 急変や事故発生時についての研修を定期的に行って、全職員が対応できるようにしている。  |   |                                |
| 33 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている   | 避難訓練を定期的に行っている。また地域の方にも協力をいただいている。   | 地域の協力を得ながら訓練が実施されています。自然災害の発生が多いことから、その訓練の必要性を参加者から提案される等、運営推進会議でも話し合われています。        | 避難時の役割分担が周知できるよう訓練の積み重ねを期待します。 |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |   |   |                   |
| 34                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 生活歴を把握して個々にあった言葉かけや対応をしている。また方言を交えながらも目上の方々であるので失礼のないよう注意をしている。                   | 利用者は職員と会話することで安心感が得られることから、馴れ合いに気をつけ、方言を使用しても優しく対話して気持ちを損ねることなく、統一した支援ができるよう管理者が注意喚起されています。 |                   |
| 35                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 自分がやりたいお手伝いやレクを、一緒に考えたり、見たいテレビ番組を自分たちで選べるようにしている。                                 |   |                   |
| 36                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 本人が参加したくない行事やレクには無理に参加しないで、本人がやりたいことをやって頂くようにしている。またお手伝いに関しても心身の状態が悪ければ、休んで頂いている。 |   |                   |
| 37                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 本人の希望を聞いて、その日の服装や持ち物を決めたりしている。身だしなみも一人でできないときは、一緒に整えたりしている。                       |   |                   |
| 38                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 利用者と職員と一緒に調理や盛り付けをしたり後片付けをしている。利用者さんの希望を聞きながら献立を考えたりしている。                         | 利用者が進んで台所に立ち、盛り付け等を手伝っていただいています。畑で育てる野菜や献立等、食事委員会で食事が楽しいものになるよう検討されています。                    |                   |
| 39                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている    | 食事・水分摂取量を定期的にチェックしている。利用者さん事に摂取量が異なっている。(年齢・状態・好み・禁食など)                           |   |                   |
| 40                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 毎食後、洗面所にて本人にあった歯ブラシを使用して口腔ケアを行っている。磨き残しや炎症がないか、職員が確認しながら、仕上げをしている。                |   |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|---|--|---|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 尿意や便意がある方にはできる限りトイレでの排泄が行えるように支援している。できる限りオムツの使用を避けパンツ、パット、トイレでの排泄を心がけている。                                       | オムツを使用されている方もありますが、綿パンツにパッドの方もあり、トイレで排泄されています。自立に向けた支援と共に、負担軽減が図れるよう努めています。               |                   |
| 42 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 排便チェック表に記入して一人一人の排泄を把握している。食事では朝に牛乳、お昼にヨーグルトを提供している。また食物繊維が多く摂取できるような調理も心がけている。                                  |   |                   |
| 43 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                   | 定期的入浴及び希望時に入浴を行っている。また入浴ができない時は、清拭や足浴を行い清潔保持に努めている。  | 週2回を基本としていますが、好きな時に入浴できるようにしており、足浴も併せて実施しています。  |                   |
| 44 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 利用者さんの希望にそって、電気を消したり明るくしたり、シーツや毛布も肌触りの良いものを選んだり(本人が希望するもの)して、ゆっくりと気持ちよく休んでいただいている。またホールにはソファや椅子をおいてその時の気分で休んでいる。 |   |                   |
| 45 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                               | 受診記録や、薬の説明書を全スタッフが閲覧してして、特に薬が変わったときなどは慎重に確認している。体調の変化があったときは、記録を細かく取り医療機関へ報告している。                                |   |                   |
| 46 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 役割を利用者さんと決め、その人にあった事をおこなっていただいている。利用者さんお誕生日会や行事などで普段食べら行事食を食べて、喜んでいただいている。                                       |   |                   |
| 47 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 本人の希望に応じ近所へドライブへ行ったり、天気の良い日は児童館まで散歩に行ったりして、地域の方々と交流している。また行事などでは、家族さんにできる限り参加していただけるよう連絡している。                    | 紅葉ドライブ等の遠出も実施されており、車椅子の利用者も一緒に出かけています。周辺の散歩は日常的に行われており、受診帰りに買い物をする事もあって、希望に応じて外出支援されています。 |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|------|---|---|---|-------------------|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 48 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している   | 自分でできる方には、受診時売店で買い物をしたときなど、会計は本人からいただいている。  |   |                   |
| 49 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている  | 自分でできる方には、かけてもらい、できない人に関しては電話をかけてあげている。また手紙やはがきでも出来ない部分を手伝って(住所や代筆)あげている。                                 |   |                   |
| 50 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節に合った飾りつけを利用者さんと一緒に行い楽しみながら、季節を感じてもらっている。また汚物やゴミに対しても定期的に行い臭いには注意をしている。温度や湿度に関しても常に温度計で確認して快適に過ごして頂いている。 | 建物内は季節に合わせて飾りつけし、季節がわかる工夫がされています。通路は広く、玄関には段差を解消するスロープが準備されています。行事や外出時の写真が廊下に飾られており、家族に送りたいという利用者には手紙を代筆してあげて送付しています。 |                   |
| 51 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている   | 台所では利用者さんと盛り付けをしたり、お話をしたり、またホールでは、ソファやいすを置いて気の合う人同士で話ができるようにしている。   |   |                   |
| 52 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている   | 自宅で使用していたものを持ち込んだり、家族の写真やペットの写真をおいたり、本人が安心して、また落ち着いて生活ができるように工夫している。                                      | 使い慣れたものを持ってきていただくことを勧めています。持ち物の少ない方もおられますが、誕生日の色紙や家族の手紙を壁に飾り、安心感が得られるよう工夫されています。                                      |                   |
| 53 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している  | 車いすの方が水道の水を止められるよう紐をつけたり、トイレや自分の部屋の場所が分かるように目印をつけたりしている。  |   |                   |